

令和6年度 都市計画下水道事業
公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託

プロポーザル評価要領

吉田町 上下水道課

1 目的

プロポーザル評価要領書（以下「本要領」という。）は、吉田町（以下「本町」という。）が発注する令和6年度 都市計画下水道事業 公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託（以下「本業務委託」という。）について、公募型プロポーザルにより受注者を決定するにあたり、その評価基準と評価方法を定めるものである。

2 評価基準

項目ごとの配点及び評価の基準は、別表1及び別表2「令和6年度 都市計画下水道事業 公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託評価表」とおりとする。

3 各審査の内容

（1）参加資格審査（第一次審査）

第一次審査においては、プロポーザルに参加を希望する者（以下「参加表明者」という。）の参加資格要件について確認する。参加資格要件を満たしていない場合、当該参加表明者は失格とする。

また、参加表明者が5者以上の場合は、参加資格を有すると認められる参加表明者の中から評価点の高い者上位5者を選定する。

1) 資格確認申請時における提出書類の確認

参加表明者から提出されたプロポーザル参加申請及び誓約書（様式1）及びその添付書類について、令和6年度 都市計画下水道事業 公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託プロポーザル業務説明書（以下「業務説明書」という。）に定めた提出書類が全て揃っていることを確認する。書類不備がある場合は失格とする。ただし、軽微なものについてはこの限りでは無いこととし、追加提出を求める場合がある。

2) 参加資格の確認

参加表明者が業務説明書で規定する本事業を実施するために必要な資格を有していることを確認する。参加資格を確認できない場合は失格とする。

3) 第一次審査の選定基準

第一次審査提出書類の内容を基に、事業者としての経営基盤の安定性、企業の業務執行技術力などについて審査し、採点を行う。

(2) 技術提案審査（第二次審査）

1) 提出書類の確認

第一次審査において参加資格要件を満たし、技術提案書等の提出を求める者（以下「提出要請者」という。）を対象として、業務説明書において提出を求めた技術提案書が提出され、提出書類が全て揃っていることを確認する。書類の不備がある場合は失格とする。ただし、軽微なものについてはこの限りではないこととし、追加提出を求める場合がある。

2) 提案内容の確認

技術提案書について提案見積書を確認した後、基礎審査及び提案内容の審査を行う。

① 参考見積書の確認

提出要請者が提出する参考見積書に記載された見積金額が、契約限度額以下であること。

② 基礎審査

提案内容が業務内容説明書に求められた要件を満たしていることを確認する。提出要請者の提案内容が要件を満たしていない場合、当該参加者は失格とする。

3) プレゼンテーション及びヒアリングの実施

プレゼンテーション及びヒアリング（以下「プレゼンテーション」という。）を行い、技術提案書等との整合性の確認及び業務執行能力等についての確認を行い評価する。

4) 第二次審査の選定基準

プレゼンテーションの後に、業務の技術的観点からその内容を得点化した技術評価点と参考見積金額を得点化した価格評価点を合計し、第二次審査評価点を算定する。

4 優先交渉権者の特定

審査委員会は、第一次審査による評価点に第二次審査による評価点を加えた

総合評価点が最も高い提案を行った参加者を優先交渉権者として特定する。1者であっても審査を行い、総合評価点が一定水準に満たない場合（総合評価点が満点の50%未満）は特定しないものとする。

総合得点が同点で2者以上になった場合については、評価要領書の別表2③実施方針及び別表2④評価テーマの合計評価点が高い提出要請者を優先交渉権者として特定するものとする。さらに、同点となった場合は、評価要領書の別表2⑤価格評価点の高い提出要請者を優先交渉権者として特定するものとする。

また、不測の事態を考慮し、総合得点が2位の者を次点交渉者として特定する。

5 総合評価点の配点

$$\begin{aligned} \text{総合評価点} &= \text{第一次審査評価点（80点）} + \text{第二次審査評価点（140点）} \\ &= 220 \text{点} \end{aligned}$$

（小数点以下に端数がある場合は、小数点以下第2位を四捨五入する。）

6 審査の方法

（1）技術評価点に係る評価項目における得点化方法

第1次審査は別表1に基づき実施し、第2次審査は別表2に基づき実施する。なお、第2次審査における基本的な得点化方法は、下記の3段階評価とする。ただし、参考見積金額に係る項目を除く。

評 価	評価の判断	得点化方法
A評価	優れている／高度の能力を有している	配点×1.0
B評価	やや優れている	配点×0.7
C評価	一般的である	配点×0.5
D評価	劣っている	配点×0.0

（2）予定配置技術者における得点化方法

予定担当技術者は、業務説明書のとおり予定管理技術者と兼務が出来るものとするが、兼務とした場合は予定担当技術者の配点はしないものとする。

る。

(3) 参考見積金額における得点化方法

次の式により求める。

$$\text{価格評価点} = \text{配点 (30点)} \times \text{最小参考見積金額} / \text{当該参考見積金額}$$

別表1 令和6年度 都市計画下水道事業 公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託評価表

第一次審査の選定基準

①事業者の持つ能力や経験

評価項目	評価の視点		配点方法	配点	小計	合計
経営基盤 の安定性	自己資本比率		自己資本比率70%以上 (10点) 自己資本比率40%以上70%未満 (8点) 自己資本比率20%以上40%未満 (5点) 自己資本比率10%以上20%未満 (3点)	10点		
	直近3事業年度の 決算状況 (経常利益 の平均)	上位から3社に配点	(5点) (4点) (2.5点)	5点		
業務執行 技術力	業務実績	同種業務の受注実績	5件以上 (5点) 3件以上5件未満 (3点)	5点		
	アセットマネジメント国際規格 (ISO55000シリーズ) に対応した認定アセットマネージャー国際資格取得者の配置の有無		有り (10点)	10点		

②予定配置技術者の持つ能力や経験

評価項目	評価の視点		配点方法	配点	小計	合計
予定管理技術 者の経験	業務執行技術力	「予定配置技術者の経歴等」における同種の業務実績数	3件以上 (5点) 2件以上3件未満 (2.5点)	5点		
予定担当技術 者 (管路) の 経験と能力	配置技術者の所有 する資格	技術者資格	技術士: 上下水道部門 (下水道) (5点) RCCM: (下水道) (2.5点)	5点		
	業務執行技術力	「予定配置技術者の経歴等」における同種の業務実績数	3件以上 (5点) 2件以上3件未満 (2.5点)	5点		
予定担当技術 者 (土木) の 経験と能力	配置技術者の所有 する資格	技術者資格	技術士: 上下水道部門 (下水道) (5点) RCCM: (下水道) (2.5点)	5点		
	業務執行技術力	「予定配置技術者の経歴等」における同種の業務実績数	3件以上 (5点) 2件以上3件未満 (2.5点)	5点		
予定担当技術 者 (機械) の 経験と能力	配置技術者の所有 する資格	技術者資格	技術士: 上下水道部門 (下水道) (5点) RCCM: (下水道) (2.5点)	5点		
	業務執行技術力	「予定配置技術者の経歴等」における同種の業務実績数	3件以上 (5点) 2件以上3件未満 (2.5点)	5点		
予定担当技術 者 (電気) の 経験と能力	配置技術者の所有 する資格	技術者資格	技術士: 電気電子部門 (電気設備) (5点) RCCM: (電気電子) (2.5点)	5点		
	業務執行技術力	「予定配置技術者の経歴等」における同種の業務実績数	3件以上 (5点) 2件以上3件未満 (2.5点)	5点		
予定担当技術 者 (建築) の 経験	業務執行技術力	「予定配置技術者の経歴等」における同種の業務実績数	3件以上 (5点) 2件以上3件未満 (2.5点)	5点		

一次審査による評価点合計 (80点満点)

点

別表2 令和6年度 都市計画下水道事業 公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託評価表

第二次審査の選定基準

③実施方針

評価項目	評価の視点		配点方法	配点	合計
実施方針	実施方針	目的、条件、内容等の業務理解度及び本町の特性等への精通度（理解度）について	A:優れている（10点） B:やや優れている（7点） C:一般的である（5点） D:劣っている（0点）	10点	
	実施体制	業務を実施する体制の妥当性について	A:優れている（10点） B:やや優れている（7点） C:一般的である（5点） D:劣っている（0点）	10点	
	業務工程	業務量を把握し、余裕をもった工程計画になっているか	A:優れている（10点） B:やや優れている（7点） C:一般的である（5点） D:劣っている（0点）	10点	

④評価テーマ

評価項目	評価の視点		配点方法	配点	小計	合計
特定テーマ	テーマ1	【的確性】 提案内容の着眼点が的確に示されているか。	A:優れている（20点） B:やや優れている（14点） C:一般的である（10点） D:劣っている（0点）	20点		
		【実現性】 提案内容に裏付け、説得力があるか。	A:優れている（20点） B:やや優れている（14点） C:一般的である（10点） D:劣っている（0点）	20点		
	テーマ2	【的確性】 提案内容の着眼点が的確に示されているか。	A:優れている（20点） B:やや優れている（14点） C:一般的である（10点） D:劣っている（0点）	20点		
		【実現性】 提案内容に裏付け、説得力があるか。	A:優れている（20点） B:やや優れている（14点） C:一般的である（10点） D:劣っている（0点）	20点		

⑤価格評価

評価項目	評価の視点	配点方法	合計
参考見積金額	安価な提案となっているか。	配点（30点）×（最小参考見積金額／当該参考見積金額）	

二次審査による評価点合計（140点満点）

点

総評価点（一次審査80点＋二次審査140点）